

令和6年度の重点課題

- 男女ともに運動やスポーツが好きと答えている児童の割合が昨年と比較してやや下回っている。
- 体育科の授業では、意欲的に体を動かしている児童が多い一方で外遊びには消極的な児童もみられる。
- 男子については、「握力」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「ボール投げ」の項目が県平均と全国平均を下回っている。
- 女子については、「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「立ち幅とび」の項目について、県平均と全国平均を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 体育科授業での取組
  - ・運動遊びを取り入れた準備体操の実施。
  - ・握力を使う運動の実施。（新聞紙を片手で丸めることや肋木を使った運動など）
- 外遊びの推奨
  - ・体育委員会を中心に、外遊びの意識付けを行った。（ボール遊び、一輪車など）
- 縄跳び週間の実施
  - ・11月から2月にかけて縄跳び週間を実施し、外での運動の機会を増やすようにした。
  - ・長縄大会の実施
- ラジオ体操週間の実施
  - ・夏休みに入る前の週の朝の時間に、体育委員会と一緒にラジオ体操を行う。朝から体を動かす習慣を身に付けるように実施した。
- 体力づくり大会
  - ・体育委員会が中心となり、体育館で「握力」「ボール投げ」に特化した運動体験ができるようにした。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.84	20.45	34.91	46.23	54.29	9.42	148.66	20.34	55.23	第5学年	16.43	18.26	39.39	44.30	51.35	9.53	146.48	14.00	58.96

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和6年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.84	20.45	34.91	46.23	54.29	9.42	148.66	20.34	55.23	第5学年	16.43	18.26	39.39	44.30	51.35	9.53	146.48	14.00	58.96

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	76.67	23.33	0.00	0.00	第5学年	52.17	39.13	4.35	4.35

重点課題

情意面での課題

○昨年度と比較すると男子が肯定的回答100%、女子は91.3%（昨年度は男子89.88%、女子は91.24%）と改善されているが、女子では、やや嫌い、嫌いと答えている児童が数人いる。もともと体を動かすことに抵抗のある児童であることがわかる。

体力面での課題

○ボール投げについては、今年度も課題がある。普段の生活の中で投げる経験が少ないことが考えられる。  
○全国平均・県平均とも年々下がっているため、全体的な体力の底上げは継続しなければならない。

令和8年度の重点目標値

- 問題解決意識をもって学習に臨ませるようにする。
- 運動やスポーツが好き、やや好きと答える（肯定的回答）児童を100%にする。
- 昨年度に引き続き、男女とも4項目以上について県平均、全国平均の数値を上回るようにする。（特に、これまでも課題となっている「握力」「ボール投げ」）

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・運動遊びを取り入れた準備運動の実施。体育科の授業は楽しいなと感じられるようにする。
- ・体育館での準備運動はパワーアップ体操を取り入れる。継続的な取組で、全身の筋肉を刺激し、体力の向上をねらう。
- ・4月にボール運動（投げる）に関わる授業を取り入れ、正しい投げ方をイメージできるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体育研修の実施
  - ・今年度の結果を共有し、来年度に向けた取組内容の計画を立てるようにする。対象学年の5年生だけでなく、低学年からの底上げができるように情報共有をしていく。
  - ・実技研修も含めながら、準備運動も教員の負担が少なく楽しめるようなものを実践していく。
- 外遊びの推奨
  - ・体育委員会を中心に外に出て体を動かす遊びの楽しさを伝えていく。
- 縄跳び週間の実施
  - ・11月から2月にかけて縄跳び週間を実施し、外での運動の機会を増やすようにした。